

## ネイティブ・ボバイン・トートメラゼ

Cat. No. NATE-0691

Lot. No. (See product label)

### はじめに

**説明** 酵素学において、フェニルピルビン酸タウトメラゼまたはマクロファージ移動抑制因子 (EC 5.3.2.1) は、化学反応を触媒する酵素です: ケト-フェニルピルビン酸  $\leftrightarrow$  エノール-フェニルピルビン酸。フェニルピルビン酸タウトメラゼは、フェニルピルビン酸と構造的に類似しているが、芳香環のpara位に追加のヒドロキシ基を含む4-ヒドロキシフェニルピルビン酸にも同様のケト-エノールタウトメラリズムを示すことが発見されています。この酵素は異性化酵素のファミリーに属し、特にケト基とエノール基を相互に交換する分子内酸化還元酵素です。この酵素はチロシン代謝およびフェニルアラニン代謝に関与しています。

**用途** 牛腎からのタウトメラゼは、4-ヒドロキシフェニルピルビン酸ジオキシゲナーゼによって触媒される反応におけるトリチウム同位体効果を評価する研究に使用されました。牛腎からのタウトメラゼは、ヒトマクロファージ移動抑制因子を調べる研究にも使用されました。

**別名** トートメラゼ; フェニルピルビン酸トートメラゼ; EC 5.3.2.1; フェニルピルビン酸ケト-エノール異性化酵素; 9023-54-5

### 製品情報

<b>種</b>	ウシの
<b>由来</b>	牛の腎臓
<b>形態</b>	水溶液
<b>EC番号</b>	EC 5.3.2.1
<b>CAS登録番号</b>	9023-54-5
<b>活性</b>	1-4 ユニット/mg タンパク質 (Lowry)、約10 ユニット/mL
<b>濃度</b>	~10 ユニット/mL
<b>単位定義</b>	1ユニットは、25°CでpH 6.2の条件下で1.0の一次反応速度定数 (k) をp-ヒドロキシフェニルピルビン酸 (ケト) を使用して生成します。反応体積 = 3.3 ml。

### 保管・発送情報

**保存方法** -20°C